

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第266号 2023年6月



「上山城」からのたより 初夏 第167便
上山城

斎藤茂吉没後70周年特別展のご案内
五十嵐 善隆

管見の楽しみ(1) 古文書の勉強から
犬石 秀実

連載 ふるさとへの便り 68 WBC栗山監督のこと
武田 幹雄

連載随筆 15 旅のつれづれ
橘 千枝

上山でもエレキブーム=ブルーサウンズの足跡
桜井 和敏

ことばの面白さ(3) ショートカットされる「ことば」
藁井 豊

郷土に残る古文書の紹介 宗門人別改帳関連文書
上村 昶

「なみだ」 第一回
大武 芳子

随想「祭」は細やかでもいい
佐藤 藤三郎

●月刊かみのやま巻頭企画

「上山城」からのたより 春・第167号

もう間もなく終了となりますが、今月四日まで上山城では企画展「五月人形と刀剣・甲冑展」を開催しています。今回はその企画展で展示している一振りの刀にまつわる物語をご紹介します。

その刀とは、上山市内の個人宅で保管されていた（現在は上山市に寄贈）、「浪華住月山貞吉造之」の銘が刻まれた、長さ二尺余り（六六・五cm）の刀です。

「銘」に刻まれている「月山貞吉」とは、江戸時代後期に活躍した刀匠で、出羽国（現在の山形県河北町）から江戸に出て、同地で名匠水心子正秀（出羽国出身）から作刀技術を学び、その



月山貞吉が作った刀（個人寄贈）

後、大坂に移住し、六代に渡り続く刀工一派「大坂月山」の元を築いた人物です。

この刀の他に、近年、貞吉（と息子の貞一）が上山藩士山村求馬（戊辰戦争時の上山藩総督。同戦争で戦死）のために作成した短刀が新たに発見されました（二〇二三年四月十九日付「山形新聞」参照）。このことから、上山と名匠月山貞吉との関係は意外に深いものであったことを知ることができます。

さて、話を企画展の展示品の刀に戻します。この刀を納める鞘は周囲に革が張り巡らされた、江戸時代の雲囲気に合わない造りとなっています。なぜ、このような造りになってい

るのかというと、それは第二次世界大戦中に日本軍兵士が帯びる軍刀として仕立て直されたためとなります。武士のために作った刀が、時を経て日本軍兵士の軍刀として用いられる。自身が作った刀が、その後、こんな物語を辿るとは、さすがの名匠月山貞吉も驚いていることでしょう。刀という見た目目の美しさに気が取られがちですが、この世に存在する刀の一振り一振りに、今回ご紹介したような歴史が存在しています。その歴史についても目を向けることで、より奥深い刀の世界（沼）にハマることができると思えます。ぜひ試してみてください！

【お知らせ】
月山貞吉の刀を含む、上山城収蔵の刀剣の展示を体験できるイベントを、今月十日に開催します（定員五名・事前予約制先着順・申込先上山城 ☎〇三三二六七三二六六〇）。見学は予約不要です。

「刀」から「軍刀」へある「刀」の物語

（公財）上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

内科・循環器内科・人工透析内科
医療法人 長清会

長岡医院

院長 櫻井清陽 理事長 長岡由女
医師 長岡迪生
診療時間/平日9:00-13:00 14:30-17:30
休診日/日曜日・祝日・木曜日
上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口寿功
診療時間：平日9:00-12:30 14:30-18:00
水曜・土曜：9:00-12:30
休診日：日曜・祝日・水曜午後・土曜午後
上山市四ッ谷 1-6-35 TEL677-0050

原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	●

木曜・土曜 12時まで / 休診日：日曜・祝日
上山市十日町 9-2
023-672-0008

永田歯科医院
Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00
休診日 日曜・祝日・木曜
上山市元城内 3-62
672-0215

6月 湯の涌、夢の涌、人も涌く
ワクワク温泉城下町
かみのやま

山形ワインバル2023

開催日時 7月1日(土) 11:00~17:00
会場 上山城周辺
料金 <前売券> 1枚 4,000円
<当日券> 1枚 4,500円
今年は過去最多40社以上のワイナリーが参加します。
前売券はJTブレジャーチケット（主要コンビニ発券機）、Pass Market（電子チケット）、かみのやま温泉観光案内所他で好評発売中！



(一社) 上山市観光物産協会

023(672)0839
http://kaminoyama-spa.com

愛車に Make-up を……
钣金・塗装・車検

承ります
東北運輸局長認証工場
創業45年 E 有限会社 遠藤ボデー
〒999-3122 上山市仙石1121-1
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭
(株) マルシン葬祭社
寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス
上山市久保守4005の10
023-672-4242
☎ 023-672-4470
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

斎藤茂吉没後70周年特別展

「MOKICHI・壮年から晩年までを振り返る」のご案内

斎藤茂吉記念館業務係

五十嵐善隆

山上市金瓶出身で歌人・精神科医の斎藤茂吉が昭和28年に亡くなって、今年は70周年にあたります。それを記念して斎藤茂吉記念館では現在、斎藤茂吉没後70周年特別展「MOKICHI・壮年から晩年までを振り返る」を開催しております。このたび月刊「かみやま」の読者のみなさまに対しまして、その特別展ご見学に際しましてのおススメポイントと魅力などとともに、当館職員の裏話をお伝えしたいと思います。

展示おススメポイント①

茂吉愛用の衣類（マネキン）

特別展の会場となります館内守谷夫妻記念室に入りますと、きつと全員が最初に目を惹かれるのは、ガラスケース内に直立しております茂吉愛用の衣

類を身にまとうマネキンかと思えます。その存在感と人のような気配たるや、館職員たちですら見学中のお客さま、はたまた在りし日の茂吉山人そのひとが今ここにいるかのように感じられて、ギョッとしてみ間違うほどです。企画の際は、ハンガーにコートを掛けて展示する予定でしたが、担当学芸員による強い思い入れにより、マネキンを上山城さんからお借りすることが可能となったため、リアルな展示を行うことが出来ました。また、展示設営に際しては、絶妙な造作によって存在感抜群の茂吉愛用の衣類の展示に至りました。ちなみに、マネキンは茂吉の身長と同じくらいの高さです。

さて、肝心の衣類については、コート、襟巻（マフラー）、スーツ、革靴の

4点です。特に注目いただきたいのは、コートの破けた部分を繕った箇所です。このコートは、戦前から戦後にかけて着用されていたもので、当時の茂吉が物を大切にしたら暮らし向きがうかがわれます。

展示おススメポイント②

茂吉デスマスク（ブロンズ&石膏型）

当館に来館されたお客さまに、印象に残った展示物をお尋ねするとその双壁は茂吉携帯便器（通称・極楽バケツ）と茂吉デスマスクが先ずあげられます。

今回の特別展では、常設的に展示をしている茂吉デスマスクのブロンズに加え、そのブロンズを作るために使用した石膏型を並べて展示しています。この茂吉デスマスクの作者は、山形県出身の彫刻家・新海竹蔵です。新海は茂吉

死去間もなくブロンズデスマスク制作に取り掛かります。ブロンズ制作のため、石膏型は、一般的にブロンズ完成後、取り壊すことが多いとのことですが、これが壊されずに残った理由は明らかになっていません。もしかしたら茂吉の安らかな顔をかたどった石膏であったため、新海は壊すのをためらったのかもしれない。

この石膏型は平成29年7月、茂吉の長男・斎藤茂太氏の書斎と書庫などの整理作業のために、ご遺族のご好意に



より私どもがうかがった際に再発見されました。古い桐箱に入っていて、最初は万葉集の写本か何かか、などと思いましたが、その御尊顔であったので、とても驚いたことなども思い出されます。

ほかにも、茂吉晩年の書や原稿など内容盛りだくさんですので、ぜひぜひ斎藤茂吉記念館にお越しください。

（この特別展は8月31日まで開催。休館：水曜日、7月第2週。大人600円・高校生300円・小中生100円。午前9時から午後5時まで）

上山がもっと元気に
なりますように。

私たちは、そんな願いも込めて
山形新聞を毎日お届けしております。

～新聞をもっと身近に！～

山形市旅籠町2-5-12
山形メディアタワー6F
☎023-635-6111
上山営業所
上山市弁天2丁目
☎023-672-0259
上山南営業所
上山市石崎1丁目
☎023-673-3541

美咲花咲き
パークینگ
かみのやま温泉駅東口
とても便利です!!

キッチンカー などの
出店 (短期・定期) も、
随時ご相談承ります。

☎673-1895 [鈴木]

こんな困りごと
ありませんか？



宝石・メガネ・時計

タニエ

上山市石崎2丁目1番33号
☎023-672-0364
携帯:080-3330-6973

管見の楽しみ 古文書の勉強から

犬石 秀実
(上山市在住)

タイトルの「管見の楽しみ」とは、小さな隙間から見える世界は異世界であったり、真実の姿であったりするかもしれないという意味です。

さて、私の住まいは、軽井沢です。ご近所に上山藩に仕えた家がまだあり、「へえ、先祖はご家老様だったのか」「お納戸役って何の仕事をしていたの」などと子どもの時から耳にすることも多くありました。このご時世にもかかわらず「切腹の仕方」を私に教えた父親も犬石の家が武家であったことにこだわった人でした。

親戚がお盆などに集まって「前の戦争」について話しているのを聞いてびっくりしたことがあります。「前の戦争」の時に大砲を引く張って長岡に出かけ……。私は第二次世界大戦のことと聞いて聞いていると、なんと「戊辰戦争」前

の戦争というのは日露戦争でもなければ日清戦争でもない戊辰戦争のことでした。京都などでは前の戦争というところ「応仁の乱」までさかのぼることもあるというので、そんなこともあるかなと私には思えてしまいます。

そのような環境ですので子どものころからお城のことや殿様のことなど興味深く聞くことが多く、「どのようなお殿様だったのだろう」とか「どんなお城だったのだろう」「忍者はいたの」とか想像たくましく思いめぐらしたところ

です。小学校中学年の頃(昭和40年代)でした。新聞に上山城の「抜け穴」というのが載ったのです。修学旅行で忍者屋敷に喜ぶ小学生のように、実際小学生だったのですが、大喜びしたものでした。記憶によると上山小学校の西側の土手を掘

を持たない殿さまです。もっと調べたかったのですが手だてもないままに、いつの間にか半世紀もたち、退職もしました。退職してすぐのことでした。上山古文書研究会の板垣和男先生に声をかけていただき、古文書を学習することになりました。「二、三年もすれば読めるようになるから」きっかけは板垣会長のこの言葉でした。半世紀も先延ばしにしている課題に少しでも迫る期待も多分にはありません。確かに歴史を学ぶ大学生などには在学中に古文書が読めるようになっていきます。会員の皆さんは毎月二回ある南

部地区公民館での学習会に予習復習怠りなく、テキストに赤を入れ自分なりに解説をしてくる念の入れようです。また「古文書の雰囲気が好きなの」と通ってくる方も結構います。古文書の学習会のおかげで、少しは上山城や殿様、お姫様のことについて勉強することができ、私なりに興味を持って調べたりすることもできるようになってきました。また、上山藩の村々・商家のことなども具体的に勉強することができ管見ではあります。私なりに学習の広がりを感じているところではあります。

いました。専門書のみで読めるわけがありません。しかし、目次や読めるところをつなぎ合わせると分かってくるころがありました。上山には殿様がたくさんいたことです。伝説の五十嵐小文治、史書にはつきりわかる里見兵部に始まり明治維新までの藤井松平など大勢の殿様がいたということでした。「うちの殿様は誰だあ？」と混乱のうちに、あつという間に私のお城ブームは去っていききました。しかも、憧れのお城はどう壊されてしまったということもわかってきました。私の殿様は藤井松平の殿様だということもわかりました。お城

を



蟹仙洞

代州道人

開館 9:00~16:30
休館日：毎週火曜日

上山市矢来4丁目 023-672-0155

公開講座「茂吉入門」

日時：6月11日(日)
PM1:30-2:30
会場：館内集会室(1階)
講師：秋葉四郎氏(館長)
会費：無料(要入館料)
※申込用紙・お電話での事前申込み制

斎藤茂吉没後70周年特別展

MOKI CHI

-壮年から晩年までを振り返る-

会期：8/31(木)まで

休館：水曜日、7/2-7/8

斎藤茂吉記念館 北町字弁天 672-7227

上山城友の会 会員大募集!

- 有効期間 入会から1年間
- 特典 有効期間内は上山城に何回でも入館可能。お買い物時割引サービス有。ほか。
- 会費 団体会員：5,000円から
個人会員：1,600円

※詳しくは上山城までお問合せください。

お問合せ・お申し込み

上山城

上山市元城内 023-673-3660

◆連載◆ふるさとへの便り 第六十八回

武田 幹雄
(上山出身・千葉市在住)

未だにWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の興奮が抜け切らない。決勝の米国戦。大谷がトラウトを三振に切って取る。日本が世界一を奪還したその瞬間、肌から泡を生じるような、味わったことのない興奮に襲われた。大谷がグラブを投げ飛ばして咆哮するシーンを思い出すたびに僕は恍惚の人々になってしまふ。

そんな折も折。全日本の栗山監督からWBC優勝を記念したトートバッグとポーチが届いた。勿体なくて当分は飾っておくだけだが、僕にまで記念品を送る「心配り」は栗山監督の選手掌握術と決して無縁ではない。それを証明するような大事なトートバッグ。予選リーグを突破した辺りから栗山監督の表情に疲れが見え始めた。顔にしわが刻まれ、隠しようもなかった。長嶋さんの代理で全日本の監督を務め



た中畑清さんは、二度と経験したくない極度の緊張感だったと述べたが、両肩にのしかかる「JAPAN」の重圧は想像さえできない。その中で昨年のバの二冠王、西武の四番をスタメンに使用せず、好調の吉田には代走を送るといふ、失敗したら取り返しのない作戦をさらりとやっつけた「胆力」は見事だった。

札幌からJR函館本線で岩見沢へ。そこで室蘭本線に乗り換え、長閑な北海道の景色を楽しむこと四駅。距離に

したら約六十キロ、一時間半ほどで栗山駅に着く。タクシーに乗って「栗の樹ファーム」と告げればどんな運転手でも笑顔で連れて行ってくれる。町を見渡す高台に建つログハウスが栗山さんのホームグラウンド。WBCの出発点である。

この地に野球場が完成したのが二〇〇二年秋。当時の町長まで出席して盛大に完工式が行われた。図らずも僕はその場にいたが、自ら重機を運転して作り上げた野球場。傾斜のある土地を平らに均し、水はけをよくするために暗渠も入れた。粘土質の土は芝も根を張りにくいから種から育てた。バックネットも手作り。何もかもが栗山英樹の夢が詰め込まれた野球場は、映画「ワールド・オブ・ドリームス」そのものだと五十八回目の小欄でも書いた。一九九八年秋。栗山町J.C(青年会議

所)の上田さんが掛けた一本の電話から始まった。荒唐無稽な話。当時J.Cは三十周年。町おこしを考えていた。白羽の矢を立てられたのが栗山さん。名前が同じと言う誼だけで始まった北海道との縁が、栗山さんの世界制覇につながるのだから、人生は面白い。でも、町ぐるみの応援がなければ完成しなかったホームグラウンド建設は監督業に必要な「選手起用法」のいい勉強になったはず。先入観なく選手と付き合うのは名将・三原修の教え。それを学んだ野球場作りだった。

全日本の選手を試合の駒として動かすにはそれなりの深謀遠慮があったろうに、それは一切口にせず、選手を信じる力、それをどう伝えるかに心を砕いて常に下からの目線で話した。「野球の面白さ、凄さ、怖さ」を選手が見せてくれた。この選手たちのおかげで子供たちが野球をやってくれると思う」といふ。選手への信頼と尊敬。それを言葉で紡いでいった先に、野球少年・栗山英樹の夢が待っていた。

栗山町での優勝パレードに軽トラを自ら運転してやってくる世界

◆連載◆ふるさとへの便り 第五十八回



武田 幹雄



【写経会】：毎月第4土曜日9時から
【ご読経会】：毎月第1水曜日1時30分から
最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番
水岸山慈眼院 観音寺
山形県上市市十日町9-29 電話023-672-1421

吉井内科胃腸科
クリニック
診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00
院長 吉井 英一
023-673-7515
上市市金生東一丁目10-15

普段着家族写真
キャンペーン!
8,200円(税込)
6切写真+6切額のセットです
普段の服装で来てください
おそろいの服も格好いいよ!
高橋写真館
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 | 完全予約制
営業時間 9:00~18:00 定休日 火曜日
http://takahashi-photo.net/
上市市十日町8-5

連載随筆 ⑮ 旅のつれづれ

橘 千枝
(エッセイスト)

久しぶりのツアー旅行に行ってきた。コロナ禍になってからは自家用車の旅ばかり。ツアーは以前から申し込んでいたのだが、たまたま「5類移行」という聴き慣れない言葉の時期と重なって、本当に大丈夫かという一抹の不安も。しかし皆さん、まだおっかなびっくり。ほぼマスクも付けているし消毒液も各所にあつて、人混みに行かなければ安心だった。

旅は、近いところは自分の足でけるが、遠い場所となるとツアーが便利だ。特に初めて行く土地は地理感がなく、ナビがあつてもどちらに向かっているのか方向感覚を失う。安心安全のためには少々自由が利かなくとも、お上りさんよろしく、ガイドさんの旗について行くのが一番だ。しかし今回の旅で感じたのは、

コロナ禍で疲弊した観光地の姿。お客が戻って来たと嬉々として迎えてくれたが、中にはシャッターが閉まったままの土産物店が軒を連ね、数軒だけ何とか頑張っている場所もあった。しかし中に入れば、どこにでも売っているようなものばかり。ほこりを被ったような置き物など、今どき誰が買うのだろうか。親の代からそうやって生きて来たような主人が必死で客を呼ぶ。でも何かが違っている。

戦後の旅行ブームで観光地になったのは、風光明媚な場所とか、自然の造形が名勝になったところが多い。それこそ江戸時代から名所だったところもあつて、行けばなるほどと思う。しかしそういう場所は、一回見れば気が済むということが多い。また行きたいと思うのは、町全体の雰囲気

風情があつたり、歴史や文化を感じるところだ。
安いツアーに乗っておいで言えることではないのだが、宿も昭和のままのようなどころばかりだった。逆に言えば、未だに団体客相手で何とか維持しているという感じの宿。安い客でも、まとめて食事をして売店で買い物をして、朝も早くにさっさと出かけてくれるというのは、受け入れる方でも利点があるのだろう。個人で行く時には絶対に選ばないような宿。

昭和の時代は、日常を離れて、温泉に入って上げ膳据え膳だけで充分に満たされた。物見遊山で満足して、親類縁者や近所にまで土産を買って帰った。旅行に行くこと自体が非日常で、生活に余裕のある証だった。

今はもう、旅慣れた人ほど自分で行く場所を選ぶ。そこに泊まること

が旅の主目的になったり、名所旧跡でなくとも自分のこだわりで行きたいところを探す。気に入ったら何度でもリピーターになる。宿や施設が町と一体化して「暮らすように泊まる」とか、その地域の文化に触れられるとか。欲しいものは、そこでしか買えない、心が震えるようなもの。
全国的に有名な観光地ほど、前時代的な施設が多く残っている気がする。黙っていても客が来るから努力を忘れていいのか。いつしか魅力的な観光地ではなくなり、寂れてしまつてからは取り戻すことは難しい。で




も、時代に取り残されていることに気づきながらも、旅行会社と繋がった営業形態から抜け出すきっかけがつかめないままなのかもしれない。大きな資本が入ったところは、いきなり垢抜けた施設になっていたりもして、時代の流れや地域全体を俯瞰して見られる人材や組織、加えて大きな資金が必要なのだろうと感じた。
自分の町は、地域は、どうなのだろう。旅をしながら考える。比較的、頑張っているかも、なんて。故郷を客観的に見るためにも旅は必要だ。

もうすぐ夏だね。



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!


ムース♥デコ 

♡ニキビ・吹き出物 ♡美白・リフトアップ
♡シミ・小じわ ♡毛穴の黒ずみ
♡アトピーなど ♡手の荒れ

特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約:673-3002

手打そば だから亭



上山市金生東二丁目
023・673・3103

上山でもエレキブームブルーサウンズの足跡

桜井和敏
(山形市在住・上山市出身)

テレビが普及し始めた昭和三十三年辺りからジャズやポピュラー、ロカビリーなどのいわゆる「洋物」がどつと押し寄せてきたと記憶しています。若者たちには文句なしに受け入れられ、小遣いでレコードを集めるオタクが増えて友だち同士での貸し借りが頻繁に行われていたようです。

時代も移り、聞く音楽から演奏するというスタイルに変わっていったのは一世を風靡したエレキブームの到来ではなかったろうか。昭和三十八年からラジオ番組『九千五百万人のポピュラーリクエスト』を好んで聞いておりました。イギリスのビートルズが台頭し、あつという間に世界を席巻したのもその頃でした。ほかに鮮明に覚えているのはベンチャーズの演奏『ダイヤモンドヘッド』でした。今までは聞いたことが無い金属弦が発するギターの音色と躍動感溢れるリズムは

若者の心をうまく捉えました。その後数々のヒット曲を飛ばし、国内にエレキブームを巻き起こしたのです。都会から田舎まで破竹の勢いで演奏に憧れる若者文化に花を開かせたと言っても過言ではありません。当時のエレキギター始めドラムセット、音響設備一式を購入するには高額な値段でした。メンバー構成もただ好きだからという訳にゆかず、優れた音楽的才能や技能技術の持ち主、大音響を発するため外部に音が漏れない場所、練習時間の確保など様々な条件を満たさないと実行できないものでした。

上山市内でエレキブームの先駆者はブルーサウンズの創設者・岡崎武博氏ではないだろうか。彼の言によると『音楽好きな若者たちが、聞くだけでは物足りず楽器を手にして、自分たちにも音楽(バンド)で気持ちを表現したいというのが全員の共通点だった』

と述べております。当初は岡崎氏の同期生四人で結成したのが昭和三十九年八月でグループ名を『ブルーサウンズ』と命名しました。その年の十二月にダンスパーティで初舞台を踏みました。以後その上手さが評判となり、上山市内では各ホテルやカマタダンスホールの専属バンドを始め県内各地のイベントからも演奏依頼が殺到し、ついに山形市のキャバレー『ソシユウ』の専属バンドとして活躍することになりました。演奏形態も女性ボーカル、サククスやキーボードの奏者も加わりバラエティに富んだ演奏へと昇華してゆきました。平成十六年に岡崎氏がまとめられた『ブルーサウンズ四十年の歩み』によると引退者や新人メンバーの入れ替わりがありました。が、バンマスとしての岡崎氏の人柄と卓越した統率力があつたればこそではないだろうか。



ブルーサウンズ代表
岡崎 武博 氏

来年八十歳を迎えますが、健康に留意されながら生涯の

ミレニアム・西暦二千年を迎えるとエレキブームも低迷期を迎え、アマチュアバンドも下火になり、それに伴い楽器店での売り上げも伸び悩みと聞いております。ただ、団塊の世代と言われた人たちは当時のブームの頃、高価で買えなかったが定年を迎えてからエレキギターを買い求め、憧れだったエレキバンドの仲間づくりをして楽しんでいられるという話はよく聞きます。

『伴侶』とするエレキギターを愛し、かつての仲間たちと飲食を共にしながら演奏を楽しんでおられるようです。最後に新旧入れ替わりはありますが、ブルーサウンズのメンバーを紹介します。

岡崎武博(リードギター) 井上京二(サイドギター) 志鎌正弘(ギター) 後藤公男(ドラム) 佐藤和栄(ベース) 大泉潤一(キーボード) 羽賀 覚(ベース) 山川喜代子(ヴォーカル) 桜井芳明(ドラム) 今井敏博(ドラム) 長橋好太郎(ヴォーカル、キーボード) 五十嵐敏和(ギター) 鈴木美晴(テナーサククス) 柴田裕巨(ドラム)

その他上山市内で活躍していたブルーサウンズ以外のアマチュアバンドを次に紹介します。

【ザ・サファイアーズ】……稲毛啓二(ギター) 羽賀 覚(ベース) 桜井芳明(ドラム) 石垣美好(ギター) 小池康文(ヴォーカル)
【ザ・ベーツ】……須田貞司(リードギター) 小笠原 仁(サイドギター) 黒田重信(ベース) 佐藤国弘(ドラム)
【ザ・セインツ】……鏡 好男(ギター) 菅井吉雄(ベース) 長橋好太郎(ヴォーカル) 細谷定志(キーボード) 清野憲一(ドラム)

※本文は岡崎氏がまとめられた『ブルーサウンズ40年の歩み』から引用させていただきました。

いも煮
2~3人前
(6コ入り)
¥6,600 (税込)

地元「上山」のお土産に!!

丸松物産株式会社
山形工場 上山市新北浦3番地
TEL.023-673-5511
http://www.marumatsu-mb.co.jp

手づくり洋食を
ご家族連れどうぞ

レストラン
駅東口より徒歩5分

イビサ ☎023 673-3034
営業時間 11:30~21:00 定休: 木・日・祝
(日・祝) 11:30~21:00 (祝) 除く

ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい

割り子そば

石臼挽きそば

みつひろ
上山市新湯6-34
TEL.672-3815

「ことば」の面白さ (3) ショートカットされる「ことば」

藁井 豊
(文芸愛好家・上山在住)

「いもてん」？ この「ことば」を初めて聞いたとき私はてっきり「芋の天婦羅」のことだと思った。高校生の造語というか「ことば」のショートカット、つまり固有名詞を短縮してそう言い出したのだそう。聞くところによるとなんと実は「芋の天婦羅」のことではなく「イオンモール・天童」のことだと分かったとき、うまい！と思わず唸ってしまった。とにかく巧みなのだ。発想としては固有名詞を単語に分解し、それぞれ「イオン」の「イ」、「モールの」「モ」、「天童」の「テン」とそれぞれの頭文字を並べただけなのだが、私たちの世代にはとても思いつかない感覚のキレを感じさせられたのである。音韻的にも実に安定していて、日常的な使用にも耐えられる表現となっている。

昔から「ことば」の短縮表現はあった。たとえば取扱説明書のことを取説、就職活動のことを就活というように……。しかし今の若者たちの言語感覚はその想像力において超絶している。

もはやここまでショートカットされてしまうとついでに行けないことになる。挙げてみよう。

KY……空気読めない

この辺までは私も充分ついていける。しかしどう

だ……
ベライ
リア充

ゆるキャラ
アラサー、アラカン

サビ残
スマホ

識性)からは残念ながらやはり遠ざかってしまうことになる。


こうも考えられる。

こうなるともう未知なる「ことば」たちである。どうしても気になる方はそれぞれの短縮語の意味を検索してみしてほしい。

それにしてもどうしてショートカットされた「ことば」が時代を席卷しているのだろうか。単語のすべてを発音する時間もないほど忙しいのか？ それとも既成の「ことば」をアレンジすることで新しい時代感覚や息吹を「ことば」に付加したい、そんな気持ちを含めようとしているのだろうか？ もし後者の理由が有力なら、それは若者特有のファッション感覚と相通じる。身の周りの古い規範性を少しでも打破したいという現象なのかもしれない。しかしそのため「ことば」の規範性(社会における共通認

一般的には到底理解されそうもない短縮語が、何不自由なく流通する小社会が構築されつつあるということだ。高度に発達した情報ネットワークの網の目が、特定の世代、特定の嗜好者だけをつなぎ、一般市民社会の内部に、あたかも地域限定的に流通する「商品券」や「地域通貨」のように、その集団内部でだけ通用する「ことば」を産み出し、共有化させていくという構造である。したがって、この視点からみていけばなにも若い世代だけに限定される問題でもないことになる。同じ趣味を持つ人々、同じ主義主張の人々、これらの集団でのみ通じ合う「ことば」があれば、共通の現象なのである。

◆おかげさまで売れています！



猫の手マドレーヌ
「わんわんドーナツ」
「しっぽフィナンシェ」

十三屋本店

上山城登り口 西六七一〇一六九

協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

文化的に潤いのある故郷
づくりに、少しでも寄与出来
たらという願いをこめて、
2001年5月号より発行し
続けております。


ご協賛頂けたら幸甚です。

ご連絡は

☎ 023-672-8581

まちcafe2011

どんどん焼き
チーズ入りどんどん焼き
男爵ブレンド
ドリンク各種



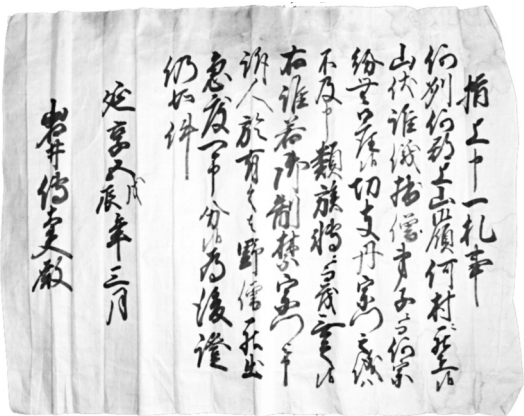
営業時間 11:00~
場所 荘内銀行上山支店さん向かい
駐車場は市営二日町駐車場をご利用下さい

NPO法人 上山まちづくり塾

郷土に残る古文書の紹介

宗門人別改帳関連文書

上村 昶
(郷土史愛好家)



◆翻刻文は次のようになります。

指上申一札事

何州何郡上山御領何村ニ罷在候
山伏誰儀拙僧弟子ニ而何宗
紛無御座候切支丹宗門之儀ハ
不及申 類族轉ニ而茂無之候
右誰若御制禁宗門与申
訴人於有之者 野僧罷出
急度可申分候 為後證
仍如件

延享五戊辰年三月

岩井傳太夫殿

◆読み下し文

指上げ申す一札(の)事

何州何郡上山御領何村に罷り在り候
山伏誰儀拙僧弟子にて何宗(に)
紛れも無く御座候切支丹宗門の儀は
申すに及ばず類族轉しんにてもこれなく候
右誰もし御制禁宗門と申す
訴人これ有るに於いては野僧罷り出で
きつと申し分けるべく候後証のため
仍て件の如し

延享五戊辰年三月

岩井傳太夫殿

右に掲載した古文書は、上山藩関連のもので、延享五年と記されていますので一七四八年に書かれた文書です。当時の幕府の宗教政策の一端を知ることが出来る史料と言えます。内容は、各村にいる山伏が、どの寺の何宗に属しているか、また切支丹は言うまでもなく関係者でもありませんと、このひな形の通りに書いて藩の宗旨奉行に提出するように、御触書と一緒に渡した例文と考えられます。つまり「宗門人別改帳」を纏めるための、情報収集に関するマニュアルの

添書のようなもののようにです。

もう一つ内容から読み取れることは、延享五年三月時点の上山藩宗旨奉行、あるいは寺社管理の任にあった役人の一人として、岩井伝太夫なる人物が窓口になっていたということです。

一六三七(寛永十四)年に起きた島原の乱からすでに一〇〇年以上も経過しているにもかかわらず、基督教の信者(当時としては隠れ切支丹)に対して容赦のない政策を全国隅々まで徹底化しようとしていたことを伺わせませす。

【宗門人別改帳】とは？

はじめは宗門改めと人別改めとは別々であった。キリシタン禁制のための宗門改手形類は寛永(一六二四～四四)後半から作成されたようである(一六三五年初見説がある)。一方、人別改めは夫役徴収の必要からこれより早く施行されたようである。小倉藩領(細川氏)では一六〇九年(慶長十四)に人付帳が作成されているようだ。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。ブラピンモライト。

デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴貸出”中!

耳あな型片耳価格 138,000円
ポリウムコントロール付 148,000円(片耳・非課税)
248,000円(両耳・非課税)

計測器
エフパルク
F-parc 佐藤
計測器
補聴器

〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ
各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

なみだ

大武芳子
(上山市出身)

中学校からずっと今も友達なのM子。
M子は私の親友である。M子とは一度同じクラスになっただけなのだが、部活動が同じだったのであるから毎日一緒にいた。

M子は秀才で、体育館に張り出される順位はいつも十番以内であった。そしていつも私の初恋の人の右か左に隙間なく並ぶ。悲しかった。思春期の真つただ中にいる子供達が、こんな事に心を痛めている事を先生達は知る由もなく、その時代は過ぎた。

M子がなみだを流すのを見た事がない。
お母さんが亡くなられた時も、旦那様が亡くなられた時も私だけが泣いた。何故泣かないのだろうかと思ってしまう。

特に旦那様が亡くなられた時、駆けつけた私がおいおいと泣いて、なみだでぐちゃぐちゃになった。

でもM子は涙を流す事なく、いつもと同じように冷静に、淡々と旦那様の最期を見送っていた。

いつもそうである。どうしてなんだ。なみだが出るのは自然の状態であって・・・。

でも最近その理由が分かったような気がする場面でも流している「なみだ」がある事を知ったような気がする。

旦那様が難病になり、歩行がままならない時にM子は誰も知らない人だけの西公園に連れ出して歩行訓練を二人で行った事を語ってくれた。

見えない所で最善を尽くす。それがM子流で心の中心でなみだを流している。

登山が得意だった彼に近所の周囲の目にさらしながらよりはと考えて、広々とした青い草の上で行う事を選んだ。決して良くはない病気である事を承知でありながら。

助さんの「なみだ」も私は見たことがない。義妹が亡くなった時も、義父母が亡くなった時も。男は人前では泣いて「なみだ」を流すものではないという価値観があるのだろうか。

に出くわした。
「くわご」の第二十七号(山辺町民の総合誌)を頂きに出かけた時の事である。

浜田さんは「くわご」の編集者のお一人でいらっしやる。M子とは五十年以上のお付き合いだそうである。M子は志が同じ友達に囲まれて生きて来たのだ。そして旦那様は山登りのペアとして選ばれた人であったのだ。選んだ仕事、選んだ男(人)に最前を尽くす。そうする事によってM子はなみだを流さない。心の中



挿画：村上百花

もしも助さんより私が神に召されたらやっぱ泣いてはくれなかったような気がする。

生前に「死んだら他人だぞ」とよく私に言っていたのは、まさか自分が先に死ぬなんて思っていなかったのかもしれない。

やきもち焼きの私は結婚したばかりの時に、彼の高校時代のアルバムの中の初恋の人を全部黒のマジックで塗りつぶした事がある。今思えば可哀そうな事をしたものだどつくづく思う。「この人は初恋の人だっただけで、卒業したらすぐに結婚したんだ。でも子供を産んだだけその後亡くなってしまった。」

亡くなった人の勝ちだ。永久に記憶に残る、それだから「死んだら他人だぞ」と言ったのです。

配達スタッフ募集

女性もたくさん活躍しています!
初心者の方でも
安心です!
スタッフが丁寧
にサポート

- ★年齢・性別不問です
- ★健康増進、朝食前のひと運動
- ★勤務時間は短時間
- ★お小遣い稼ぎにも...
- ★週に3~4日の勤務も可能です
- ★人見知りの方OKです

給与は1ヶ月で
約30,000円

☆勤務は1時間程度です。
※勤務日の要望お聞きします。
時給 | バイク 960円 車 950円
歩 | 自転車 930円 徒歩 850円

マイカー使用の場合は、上限4,000円の補助をします。

福利厚生として新聞購読補助制度もあります。

山新販売 上山営業所
弁天2-532-5

連絡先 023-672-0259

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社
山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL. (023) 673-1114 FAX. (023) 673-1115

有限会社
大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大崎村駒場字砂右衛門橋 3-162
TEL. (022) 345-5378 FAX. (022) 345-5378

「祭」は細やかでもいい

佐藤 藤三郎
(著述業 農業)

「村の鎮守の神様の 今日ほめでたいお祭り日」、たしかこんなことから始める歌では無かっただろうか。どこかの村にも「祭」があった。

私の村ではそれが春と夏と秋の三回あった(今は夏まつりをやめになった)。その祭はとても賑やかなものだった。私の部落は五十戸ほどの集落だったが、ところてんの出店などもあり、そこでそれを食べたことか、思いが今もうっすらと頭の奥に残っている。

敗戦直後の村にはあふれるほどの若者が居た。その時代、村の若者たちが神社の境内に舞台を組んで演芸会を催してとても賑やかなことが何年か続いた。

その演目の中には「まぼろしの母」といった高尚な演劇などもあり、舞踊や漫才など数々の演技があつて夕刻から深夜まで神社の境内を賑わせ、笑わせたものだった。

とりわけ「松竹漫才」というのが何年もの間村の話題になっていた。「松」というのはそれを演じた人の一人が松男という名であり「竹」の方は正しい名前「武男」というのだが、そのタケを「竹」にもじって「松竹漫才」ということを、七十年を過ぎたいまも村人たちの語り口に残っている。

この二人、まさに性格の違う人であつたがその違いが

とになったのだ。立てるのはどうにかなるが、倒すことの方がもつと危険だからだ。旗の長さもそうであるが、その竿の長さを村で一番大きな集落だから他の小さな部落に負けてはならない、などと言って競って作ったその旗であり、その竿であつたのだが、そうした村の勢いがなくなつたのはとても口惜しい。

それでも祭のときに旗を外に出してやらなければ神様に祟られるから、といって部落の公民館の軒端に横に吊す。幸いわが部落の公民館は昭和二十五年、いちばん人口の多いときに建てたものであるからその建物の長さが十間(けん/約二十メートル)もある。だから横に旗を吊しても長さに不足はないので鎮守様には申し訳が立つだろうといつて笑っている。が、生きている人たちには情けないことだ。私が部落会の会長をやっていた折には、祭に出店がなくなつていまして、参拝者も少なくなつていまして、旗を収納したあとにはささやかながらもお神酒に少しプラスして、一献やつて祭らしいことをしようと

うまく活かされて人々を笑わせたのであつた。

わずかに五十戸たらずの部落であつたのにそのような催しが出るほどの青年がこの山間の村にいたのである。一軒の家に青年団員である人が三人もいることなど珍しくなかつたからである。村の学校を卒業するとすぐに青年団員となるのだつたし、嫁になった女で団員になつてくる人はいなかつたが、男は結婚してからも団員を退くこともなく、団員になつていたのでその数は多かつたのである。

都会に仕事があるようになると、村の若者たちの多くがこの村を去つた。その時期は昭和三十年頃がピークであつてその後村に若者が少なくなると村の祭が衰えていつたのはどこも同じだ。そして村に残っているのは高齢者ばかりとなつて、近年は祭の旗が立たなくなつたのがあちこちに見られる。いや立たなくなつたのではなくて立てられなくなつたのだ。

旧山元村ではわが元屋敷部落がいちばん大きい集落だが、そうした集落であつても幟旗の竿を立てることが出来なくなつてしまつたのである。理由は住人の高齢化によつて、十五メートルもの旗竿を立てることが出来なくなつた、というより危険な作業だからやめようといふこ

それを行つていたが、コロナが流行してからそれも危ないのやめることになつた。けれどそれでは気持ちに納得がいけないというのが部落の役員経験を持つているOBの高齢者たちである。もしも村人にコロナが感染したらといった現役の役員の方々の心配も分らないではないが、それでもやっぱりどこか気がすまない。したがって責任などを問わないことにして今年「自分たちの祭」が行われた。その人数はたつた六名であつたが、神社の境内で、ゴザを敷いて一献、焼鳥ときゅうり漬けでの祭はとても楽しかつた。

この世は山村であろうといえども晩酌をやれないような貧しい人はいない。それよりも不足し、求めているのは人と人とが腹の底から声を出して喋り合う場と時間だ。それを祭にでもなければ求め得ないし叶えることもできない。だから旗はたてられなくともやれる祭をやるようにしたのに私を大いなる賛意をもって参加した。六人中私は二番目の高齢であつたけれど。

「長生橋(木造の橋)・栄町地区」 2023.6

高校生の時こういう木造の橋を山形市の千歳駅近くで見ただ覚えがあります。今では珍しくなりました。欄干に平成六年完成とありますから二十九年前です。伝統文化財のような橋が上山市に現存するのは何か曰くがあるのでしょうか。きつと橋脚組立技術を持った腕のいい大工さんがおら

れるに違いありません。3月に着手して漸く画き終えて、時季がズレましたが紹介したくて載せました。

◆お知らせ 竹内敏夫の「ぶらぶらスケッチ展」

《期間》6月1日(木)～30日(金) ※平日のみ
《会場》県村山総合支庁・玄関ロビー(山形市鉄砲町二丁目)

窮屈な休憩室◆上山藩の幕末62 編集子

浄光寺は時の藩主であった藤井松平家の菩提寺であるばかりではなく、多くの家臣たちの菩提寺でもあった。かつて戊辰戦争との関わりも深い。したがって戊辰戦争と浄光寺の僧・誠定等が上山藩軍の武運を祈ったことが上山市史編集資料「幕末・明治維新資料」に次のように紹介されている。

「浄光寺の所化誠定等は蔵王山はいふまでもなく、湯殿山に参籠して、我公の武運長久と従軍者の安全を祈ったことは、著名の事実である。今誠定が我公の武運長久を蔵王山に祈願して、当時一藩の上下を感動させた、百日の日夜参りの有様を記さんか。蔵王権現の靈前に日の出を期せんが為、毎夕刻より提灯を携へて浄光寺を出発し、翌朝日の出を待つて靈前に大願を立て、午前十時頃には帰山されたといふことである。此の如くして晴雨を問はず、一日も休まず、百日夜参りの行を済まし、愈々満願の日頂上を降りしに、己が僧衣の裾に利剣(八寸許り)の觸るるを発見し、大願の成就せる印なりと小躍りして喜び、鏡のかりし笹の葉数枚と共に持ち帰り、浄光寺の須美壇に安置し、今尚同寺に秘蔵せらる。この行為は藩に認められ後に賞與を下賜された。」

◆賞谷友尉・谷野廣年

上山藩における戊辰戦争の第一期、庄内藩征討で戸候中に死亡。官軍兵士として亡くなったため、官軍墳墓建立とともに祭祀料を受けている。

◆山村求馬弘章

上山藩における戊辰戦争の第三期、奥羽越列藩同盟軍

上山藩総督として、同盟を離反した秋田藩を討つべく出陣した戦いで死亡。同盟軍の陣営にいた新庄藩が秋田藩と内応、突然新政府軍につき、同盟軍を不意打ち、その際無念にも敵弾に撃たれる。そのときの様子が同じく「幕末・明治維新資料」に紹介されている。

「新庄藩は大濤にも我同盟軍を裏切り、敵軍を手引きして三方の間道より相迫り、烈しく打掛られたれば、同盟軍は地理に暗きが上に、前後左右の援路を絶たれ、全軍忽ち大潰乱した。」

山村総督は、漸く我敗兵を取めて、有屋峠を越へんとせしに、再新庄兵の要撃する所となり、総督敵弾に當たり傷重し、従僕高橋伊七、総督の命によりその首を切り、陣羽織に包み敵の目を避け、晝夜兼行山又山を越へ、漸く仙台領鬼首に出て、日を経て帰藩した。七月二十三日莊嚴なる葬送の式を執行し、軍國中のこととして、一藩拳つて軍装を以て會葬し、浄光寺の先塋に葬る、年僅かに三十有三。」

◆増戸武兵衛

上山藩の全般にわたっての精勤は目を見張るものがある。会津藩救済の為の仙台藩、米沢藩主導で開かれた閑宿での秘密会談へ家老渡辺五郎左衛門とともに参加している。列藩同盟結成に至るまでの諸藩との周旋活動にみならず、鎮撫府下参謀大山格之助と鎮撫府副総督沢島為量の間を裂く為の作戦行動などにも奔走していた。

「宮島誠一郎が更に駕籠を飛ばして行く、上ノ山藩士増戸武兵衛一名の駕籠と行き逢った。増戸は、庄内藩に伝えて、新庄滞陣中の鎮撫副総督沢島為量を参謀大山格之助から引離す使命を受けて急行するのだと話し、「二人人英気勃発、我の言を回顧せずして駕籠を飛ばして去る」の状況であった。」(大佛次郎「天皇の世紀」より)



メンマの名付け親

丸松物産株式会社

山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



抗がん剤治療で
お悩みの
あなたへ

医療用ウィッグの
購入支援及び
助成金が受けられます。

美容室 Chou Chou


<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>
 上山市矢来4-8-1 ☎673-6030



進和ラベル印刷 株式会社

〒999-3104 上山市蔵王の森10番地
 TEL (023) 672-7577



東京駅5分、家族経営の温かな料理店



上山中学校昭和40年度卒業
 上山小学校昭和37年度卒業

さて、誰でしょう？
 変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトビル2階
 ☎03-3274-1797 上京の折、ぜひ来店ください。

栗川稲荷神社

上山市松山1-1-5 二鎮座
 社務所 ☎03-(677)3550

御祭神 稲倉魂命
 元旦祭 一月一日
 例大祭 四月二十三日
 月例祭 二十三日

由緒沿革
 栗川稲荷神社は備中国庭瀬の城主松平信通公が城中守護神として奉祀され、厚く信仰されてきたお社であります。

元禄十年九月出羽国上山に因替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を捧げたのであります。

大政奉還の後は現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に境内はもろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』 第266号 発行日 2023年6月1日
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎023-672-8581 FAX.023-672-8582
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村蔵六 編集協力/鎌上宏

- 上山市観光課 ☎03-(677)1111
- 上山市観光協会の ☎03-(677)0829
- かみのやま温泉旅館 ☎03-(677)1456
- 上山市立図書館 ☎03-(677)0850
- 上山城郷土資料館 ☎03-(677)3660
- JRかみのやま温泉駅 ☎050-(0)61600
- 蔵王坊平観光協議会 ☎03-(677)2311
- 蔵王猿倉観光協議会 ☎03-(677)2211
- 山交ハイヤー ☎03-(677)1616
- 観光タクシー ☎03-(677)1333
- 上山タクシー ☎03-(677)1111
- 上山レンタカー ☎03-(677)4190

こんにやく懐石膳

お客様の接待、ご会合等にもご利用ください。



各種ギフト・お土産品もごございます

(発送も承っております)

楠下宿



株式会社

丹野こんにやく
こんにやく番所

フリーダイヤル 0120-08-2351

〒999-3225 山形県上市市榑下1233-2

TEL (023) 674-2351

FAX (023) 674-2515

<http://www.tannokonyaku.co.jp>

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭

さいかてい

◇ 時代屋

じだいや

☎ (023) 672-2451

<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名膳

MEIGETUSOU

〒999-3242 上市市葉山5-50

TEL.023-672-0330 (代表)

フリーダイヤル0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉



仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上市市新湯1-33

TEL.023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山

はたごの心
橋本屋

電話 023-672-0295

FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>